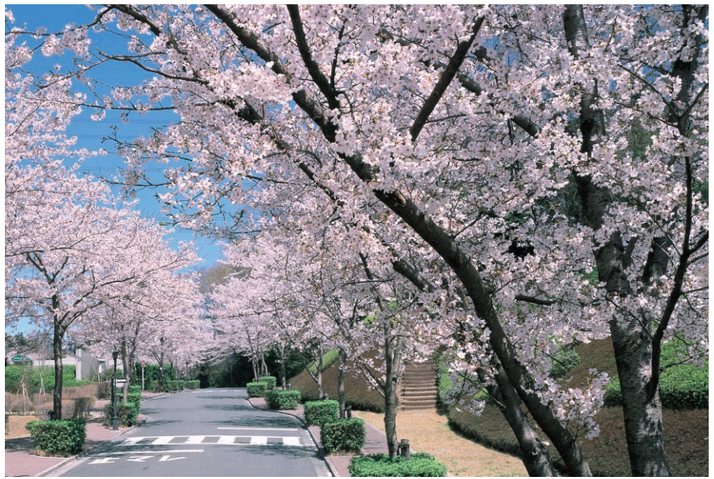
東京多摩霊園通信

こころの園

vol.9
2009年



—町田の丘の都市型公園墓地—

都心から40分。
便利な交通アクセス

電車をご利用の方は……

小田急線《鶴川駅》
京王相模原線《若葉台駅》が便利です。

●鶴川駅から神奈中バス停1番
（若葉台駅行：真光寺バス停下車徒歩8分）

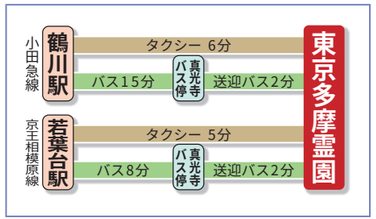
●若葉台駅から神奈中バス
（鶴川駅行：真光寺バス停下車徒歩8分）

無料送迎バス運行《真光寺バス停より2分》

真光寺バス停から霊園まで、無料送迎バスを運行しております。お気軽にご利用ください。

運行日……

●土・日・祭日
●7・8月の盆(13日～16日)
●3・9月の彼岸(入り～明け)
年末・年始は運休



平成二十一年　年回表

一般的に、追善のご法事は祥月命日かそれ以前の日取りで行うようにします。神式(ねん祭)ですと、故人の誕生日か命日に行います。それぞれ節目となる年回は次の表でご確認ください。

ご法事（仏教）

一周忌	平成二十年没	二十三回忌	昭和六十二年没
三回忌	平成十九年没	二十七回忌	昭和五十八年没
七回忌	平成十五年没	三十三回忌	昭和五十二年没
十三回忌	平成九年没	三十七回忌	昭和四十八年没
十七回忌	平成五年没	五十回忌	昭和三十五年没

年祭（神道）

一年祭	平成二十年没	二十年祭	平成元年没
三年祭	平成十八年没	三十年祭	昭和五十四年没
五年祭	平成十六年没	五十年祭	昭和三十四年没
十年祭	平成十一年没	百年祭	明治四十二年没

≪個人情報に関するお知らせ≫

当霊園が保有する個人情報に関し、個人情報保護法の施行に伴い、ご案内申し上げます。当霊園では、墓地をご購入されたお客様の個人情報は、墓地の運営・管理並びに毎年当霊園の会報誌を送付させて頂く目的にのみ利用させて頂きます。上記業務の委託を行なうため管理会社並びに配送会社に業務委託いたしますが、その他の第三者に無断で提供することは致しません。つきましては、上記内容に同意をされない時や送付を希望されないお客様は、下記管理事務所までお申し出下さい。

東京多摩霊園
宗教法人 末広行淨教会
〒195-0051 東京都町田市真光寺町203番地1（開門9:00～閉門17:00）
お問い合わせ・お申し込みは―― 東京多摩霊園 管理事務所までお申し出下さい。
042-736-3111

霊園だより

ごあいさつ

東京多摩霊園をお使いの皆さまには平素より格別なご理解とご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。

皆さまの大切なご先祖霊が安らかに眠るこの町田の丘は、春には桜が咲き競い、夏には光溢れる緑と涼しい風が、秋には木々の葉が色づき、冬は静穏に包まれた申し分ない聖地環境を呈しております。

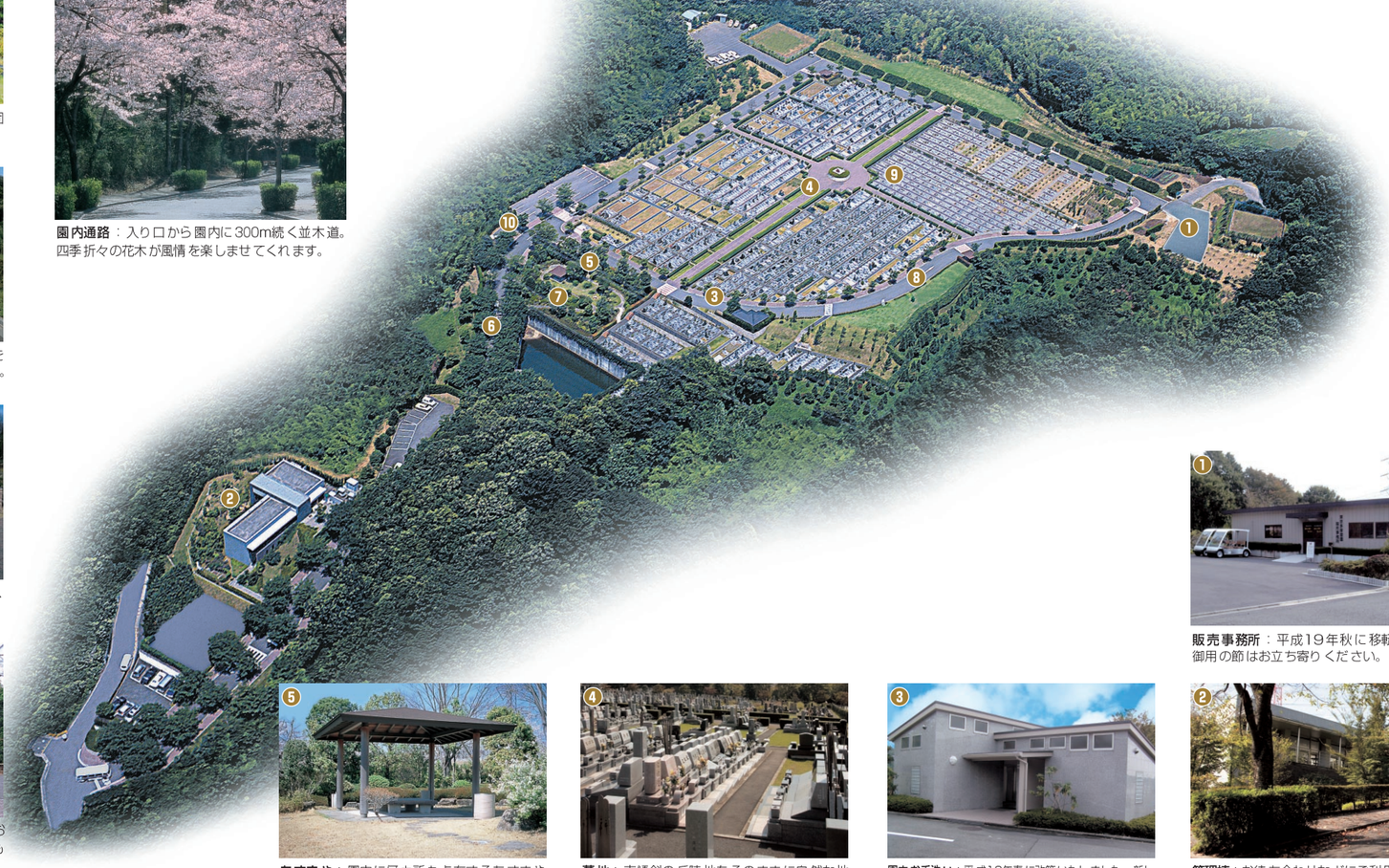
私共、管理事務所一同はこの環境を維持し、皆さまを快くお迎えできますよう業務に精励致して参ります。

皆さまのご健勝とご幸運を心よりお祈り申し上げます。

お客様の安心のために

東京多摩霊園では、お客様の安心のために健全な経営に努め、財産目録や財務に関する帳簿などを常に閲覧いただけるよう備付しております。今後ともいままでと同様にお客様の信頼をいただける健全な経営に努めてまいります。

23,000本の樹木が、訪れた方々をお迎えします。



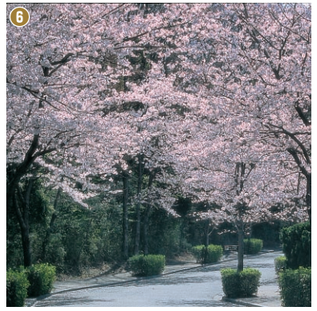
販売事務所：平成19年秋に移転しました。御用の節はお立ち寄りください。

管理棟：お待ち合わせなどにご利用できる休憩ロビー、法要室や会食室もある複合施設です。

園内お手洗い：平成18年春に改築いたしました。新しく綺麗に整備されたお手洗いをご利用いただけます。

墓地：南傾斜の丘陵地をそのままに自然な地形を活かしたバリアフリー設計です。

あずまや：園内に何カ所も点在するあずまやは、ご休息にご利用ください。



園内通路：入り口から園内に300m続く並木道。四季折々の花木が風情を楽しませてくれます。

日本庭園：お参り後は、お弁当などご家族団らんのひとときにぜひご利用ください。

ゆとりの車道：道幅6mの車道は、直接お車を墓所近くに付けられるよう配慮されています。

水場・手桶：お参りしやすいよう、墓所近く、園内各所に水汲み場を設けてあります。

生花販売：お彼岸・お盆には、墓前の献花にお花を販売しております。管理棟ではお線香もご用意しております。

美しき旅立ち ―エッセイ⑨―

墓地と文化

椎名 誠（しいな まこと）

私の両親の菩提寺は千葉で、妻がたは静岡にある。いま私たちが住んでいるところは都心だから双方たいした距離ではないのだが、なかなか墓参りに行けないのがいつも気になっている。

日本の墓はそれでも寺のほうがちゃんと管理していてくれるので、外国に多い墓だけの墓地とはちがって、人や自然現象で荒らされるということはないから、この国の「墓事情」は優れているなあ、と思う。

親が日々の多忙を理由に墓参りをさぼっているのに対して、すんで墓まいりをしたがるのは私の二人の子供たちだ。

これにははっきりした共通の理由があって、二人とも長いこと外国に住んでいるからだと思う。

たまに日本にかえってきて、懐かしい自分の育った家の気配に触れ、幼かった頃の記憶が奔流のようになってかけめぐり、故国に滞在中に「おじいちゃんやおばあちゃんに挨拶を」と強く思うのだろう、と私は勝手に解釈している。

でもそれがきっかけになって私たち夫婦も、日頃の非礼を詫びての墓参りに行けることになるのだから、彼らの反応は有り難い。そこでなんとか都合をつけてみんなで墓参りにいく。

どちらの墓にしても最短でも半日がかりということになるけれど、行けば行ったでただけのことがあり、まあつまりは「罪ほろぼし」の気持になれるし、子供たちや妻とも、ちょっと日常から離れた、それなりに静粛な気持になれるから子供たちの墓参要請の「効用」はそれなりに大きい。

私の父は、私が小学校六年のときに亡くなり、妻の父は、妻がゼロ歳のときに中国のハルビンで亡くなっている戦争被害者である。

残された母のほうはともにその後長く生きたから、どちらの墓参でも記憶に濃厚なのは双方の母である。

だから墓にむかって手をあわせるとき、父よりも母の面影がどうしても大きく脳裏を走る。小学校六年の子供の頃の父の記憶は私にとってそれほど豊富ではなく、まして妻がたの父親は、妻すらも具体的な記憶がない、というあやうくはかない存在なのだ。

私の父や母は亡くなったのが偶然同じ一月だった。納骨のとき長兄が、「これで母もこの墓に入り、ようやく四十五年ぶりに父のもとにならぶことになりました。やっとおちついて安住できる、と喜んでいることでしょう」

と訥弁ながら心からの言葉で語っているのを聞いて、わたしは思いがけず涙を流してしまった。五十年ちかい年代を経ても、骨として夫婦が同じ場所に一緒になれるのが日本の墓なのだ、ということを初めて具体的に認識し、そのことの大きさを理解したときであった。

以来、私はそれまであまり意識しなかった世界の墓について考えることとなった。私はかなり様々な国を旅しているが、これまでことさら墓の様式や埋葬の違いなどについて興味をもつことはなかったのだが、過去の旅を思い出し、どんな埋葬や墓を見てきたのか考えたりするようになった。

そうして一番時間をかけ苦難とともに墓を訪ねた旅のことを思いだした。

それはタクラマカン砂漠の奥ふかくにある楼蘭への旅だった。一九八八年の日中共同楼蘭探検隊の一員として私は一カ月がかりでスェン・ヘディンの探検著書『さまよえる湖』の現場「ロプ・ノール」まで行き、いまは渇ききった湖のほとりにある古城「楼蘭」の中に入った。目指すは、タクラマカン砂漠の砂のなかに滅びたかつての王国「楼蘭」の象徴的存在でもある巨大な「ストゥーパ」であった。

「仏塔」である。土と葺で塗り固められた塔は二〇メートル近くもあり、いまはいたるところ二千年あまりにもわたる風に削られ、風化しているが、まだ原型の芯のようなものはとどめている。

その「ストゥーパ」がやがて転じて「卒塔婆」になった、ということを、その探検のおりに古い本で私は知った。

そこには古い墓があり、有名な「楼蘭の美女」が掘りだされた。若くして亡くなった王族の美しい面影が忍ばれるミイラである。

私たち探検隊がそこに入ったときもいくつかの庶民の墓を発見した。それらはみんな小さな舟の形をした柩の中に安置されていた。

このあたりの葬送は、木舟に乗って水域に流される、というのが一般的であったらしい。その水域とは消えた湖「ロプ・ノール」であったのだろうか。

墓はその国や風土によってさまざまな形態をとる。葬送の考え方か、方法の違いによって墓のない国も結構たくさんある、ということもわかってきた。

例えばチベットである。有名な鳥葬の場をカイラス巡礼のおりにいくつか見てきた。巡礼の行く山道（高度四千五百メートル前後となる）の途中に鳥葬の場がある。当然墓はなく、そういう葬儀の文化について考えながら旅を続けることになる。

モンゴルは風葬である。耳ざわりのいい言葉だが、実態は「野ざらし」だったりする。インドは水葬。ヒンドゥ教の巡礼地バラナシあたりにいくと、上流から流されてくる白布にくるまれた沢山の遺体を見る。インドシナ半島のラオスやタイ、カンボジア奥地などは「山葬」というのだろうか。ジャングルの中にヤグラをたててその上に遺体を安置し、あとは自然にまかせる。欧米の国々では広大な墓地公園のようなところに埋葬されるケースが多いようだ。

世界の墓地と文化を思うときに日本のそれは外国の人々にどう映るのかときおり考えることがある。

椎名 誠（しいな まこと）

1944年東京都生まれ。1979年より、小説、エッセイ、ルポなどの作家活動に入る。これまでの主な作品は、『犬の系譜』（講談社）、『岳（ガク）物語』（集英社）、『アド・バード』（集英社）、『中国の鳥人』（新潮社）、『黄金時代』（文藝春秋）など。近著は、『トンカチからの伝言』（文藝春秋）、『わしらは怪しい雑魚釣り隊』（マガジン・マガジン）、『ニッポンありゃまあお祭り紀行』（カラット）。

最新刊は、『すすれ！麺の甲子園』（新潮社）、『十五少年漂流記』への旅』（新潮選書）、『ナマコのからえばり』（毎日新聞社）。

エッセイは、週刊文春連載中の赤マントシリーズが15年以上続く。旅の本も数多く、モンゴルやパタゴニア、シベリアなどへの探検、冒険ものなど。趣味は焚き火キャンプ、どこか遠くへ行くこと。

ひとくちメモ

寿陵【じゅりょう】

生前にお墓を購入することを、「寿陵」と言い、古来よりおめでたいこととされています。これは、日本のお墓のルーツが「仏塔」だったことに由来しています。お墓の準備は仏塔を建てることでもあり、「生前に仏事を修める」という縁起の良い意味があるのです。

現在では、善き旅立ちを願う仏塔というより、思い出の碑としての意味の方が強く、思いにかなったお墓にしたいというお気持ちから寿陵を考える方が多くなりました。いずれにせよ、お墓は一生以上の財産です。受け継いでゆく方々にとっても、心やすらぐものを遺したいものです。

ご法事について

礼拝堂・会食室のご利用の際はご予約をお願いします。

皆さまにお使いいただける礼拝堂・会食室をご用意しています。
ご利用の際は、早めにご予約をお願いいたします。お食事のご注文は一週間くらい前までに。
人数等の多少の変更は前日の午前中までお受けいたします。

礼拝堂使用料（使用時間45分）

1ルーム（約25名）……	10,500円
追加1ルーム……	5,250円

※消費税込み

会食室使用料（使用時間1時間30分）

1ルーム（約10名）……	5,250円
2ルーム（約20名）……	10,500円
3ルーム（約30名）……	15,750円

※消費税込み

各宗派のご法事をお世話いたします。

当園は宗旨・宗派に関わりなくご利用いただける霊園です。皆さまのお付き合いされているお寺様など、どなたでもお出入りしていただけますが、お近くにお心当たりの寺社のない方々には、当園でご法事のための各宗派寺社の僧侶をご紹介いたします。管理事務所までお問い合せください。

ご法事　諸費用ご案内　※消費税込み

埋葬料　35,000円

墓前追善供養ご準備

仏式　経机一基（清掃料含む）　15,750円
　　祭壇一基（清掃料含む）　21,000円

神式　祭壇一基（清掃料含む）　21,000円

【ご注意】ご法事は施設ご使用の有無に関わらず、必ず管理事務所へのご連絡をお願いいたします。また、お盆（七・八月）と彼岸（三・九月）の期間中は、お参りの方が多いためご法事はご遠慮いただいております。

園内でのご注意

- カートは必ず運転免許証をお持ちの方が運転してください。
- 園内及び駐車場内に於ける事故、盗難等のトラブルは一切責任を負いません。
- 墓所までの歩道は、桜の根が張りインターロッキングを持ち上げているため、歩きにくくなっておりますのでご注意ください。
- 塔婆は建立後3年経過しましたら、自動的に下げてお焚上げ致します。そのままにされる場合は管理事務所までご一報ください。

手続きのお願い

住所変更されたとき、墓所を継承されたときなどは、所定の手続きが必要になります。早めに管理事務所にご連絡いただけるようお願いいたします。

❶住所変更（表示・本籍地も含む）／氏名変更
されたときはすぐお届けください。（そのままですと、お知らせなどが届きにくくなります）

ご用意いただくもの
- 使用承諾証書
- 住民票一通

❷墓所を継承されたときは使用承諾証書の書き換えをしてください。

ご用意いただくもの
- 使用承諾証書
- 承継者の戸籍謄本及び住民票各一通
- 認め印

❸使用承諾証書を紛失されたときは再交付の手続きをしてください。

❹お骨を埋葬されるときは埋葬手続きを行ってください。

ご用意いただくもの
- 火葬許可証または改葬許可書（市町村役場発行のもの）
- 埋蔵届（管理事務所指定用紙）

❺その他

本年より追加彫刻（1彫刻につき4,250円）を承っております。

お参りにおいでの時でも、お電話でも結構です。ご用向きの際は管理事務所までお声をかけてください。

車を管理棟周辺にとめる場合は、進行方向に関係なく建物側にとめてくださいますようお願いいたします。（管理棟前の白線内は駐車禁止です）

お気軽に、管理事務所までどうぞ。

東京多摩霊園では、管理の行き届いた気持ちのよい霊園を皆さまにご利用していただくことを願っております。皆さまにご不便の無いよう、管理事務所には職員が常駐しておりますので、お気軽にお声をおかけください。お参りの後などには、ゆっくりしていただけるようお茶のご用意もございます。他に、墓所内清掃などアフターサービスのご相談も承っております。また、各種お手続きや、ご法事のお手配などはお電話でもお受けしております。こちらもお気軽にご利用ください。

重要なお知らせ

一括管理料のご案内

前号にご案内させて頂きました管理料の一括によるお支払いにおきましては、多数の方からお申し込みを頂いております。

通常、二年に一度お支払い頂くことになっております管理料を一括でお支払い頂くことにより、毎回お振込み頂くわずらわしさがなくなると共に、将来お子様・お孫様の負担を無くすことができます。

現在305組以上の方がこの制度をご利用になられており、皆さまからお支払い頂きました一括管理料は国債・横浜市債・預金などの形で安全な運用をさせて頂いております。その運用益は霊園の整備・管理に充てる事で、皆さまによりご満足いただける霊園づくりに励んでおります。

今後におきましても、管理事務所にて随時受付けておりますので、この機会に安心の一括管理料制度をご検討されてはいかがでしょうか。

また、使用者の皆様からご要望がありました**一括管理料の分割支払い**も受け付けております。詳しくは管理事務所までお問い合わせください。